

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



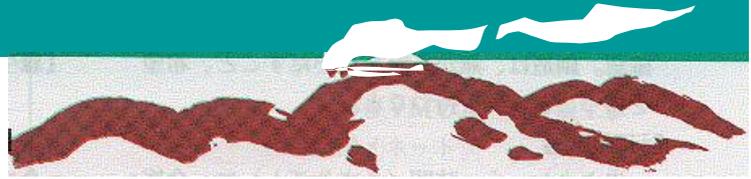
那須ワイズメンズクラブ

2014~2015年度 No.184

5月 月報

那須クラブ会長 主題

心をあわせて もう一歩



植樹例会 2015年4月25日 於：那須街道赤松林

2014~2015年度 主題

- 国際会長：(IP) Isaac Palathinkal (インド)
「言葉より行動を」
- アジア地域会長：(AP) 岡野 泰和 (大阪土佐堀)
「未来を始めよう、今すぐに」
- 東日本区理事：(RD) 田中 博之 (東京)
「誇りと喜びを持って」
- 北東部長：大久保 知宏 (宇都宮)
「一体となって一歩前に」 - 楽しく、楽しく、楽しく -

クラブ役員 事務局

- 会長：田村 修也
副会長：村田 榮
書記：河野 順子
会計：荒井 浩元
担当主事：鈴木 保江
ブリテン：荒井 浩元
田村・村

4月例会データー (出席率：50%)

在籍者 6名
例会出席者 2名 ネット 2名
コメント 1名 メーキャップ 1名
ビジター 12名

今月の聖句

「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに自分よりも優れた者と考えなさい。」
フィリッピの信徒への手紙2:3

東京目黒クラブ

5月 Happy Birthday
なし

那須クラブ

なし

・EF (Endowment Fund)

国際ワイズダムの発展のための特別基金。個人・クラブが記念すべき出来事・行事、慶弔事などのおり、寄付金国際協会に送金し積み立てる。基金評議会が管理し、その果実を運用する。US\$120以上の寄付の場合、寄者名と記念事業等を国際が永久保存する「ゴールデンブック」に記載される。国際にはこの基金の推進委員会があり、東日本区では国際・交流事業主任がその推進を担当する。

・JEF (Japan EastY's Men's Fund)

東日本区ワイズ基金 東日本区ワイズ運動の継続的奉仕活動を支えるため、個人・クラブが記念すべき出来事、行事、慶弔事等の時の拠出金が基になっている。寄付者氏名とその理由を「奉仕帳」に記し永久保管される。1997年に旧日本区の日本ワイズ基金等をもとに2,500万円の残高でスタートしたJEFは、これまでの18年間に約960万円の献金を集め、横浜国際大会支援、2000プロジェクト支援、同時通訳機購入等に1,030万円支出し現在の残高は約2,430万円となっています。今般、日本YMCA同盟・東山荘の本館の建て替えを主たる目的とする「東山荘100年募金」にJEFから1,000万円を献金することといたしました。これはYMCA支援というワイメンズクラブ最大の目的・事業への取り組みの一環であり、また、JEFを、蓄えるだけでなく生きた基金として有効活用する表れでもあり、皆さまのご理解をお願い申し上げます。

巻頭言

那須ワイズメンズクラブ設立20周年記念感謝例会を迎えて

原田 時近

此の度の那須ワイズメンズクラブ設立20周年記念感謝例会に際し、アジア学院の全面のご協力のもと開催することができましたこと、又遠く姫路クラブ、東京目黒クラブから、親クラブの宇都宮クラブ他多くのクラブの方々にご参集戴きましたこと誠にありがとうございました。集いを通し私共は友情を分かち合い、どれほど励まされることでしょうか。さて、私共那須ワイズメンズクラブは、公益財団法人とちぎYMCAを起点として学校法人さくらんぼ幼稚園・社会福祉法人マイホームきよはら等々の事業の発展に伴い組織面でも宇都宮ワイズ、足利ワイズ、宇都宮東ワイズそして那須ワイズと枝分かれして誕生しました。

ところで栃木県の人口は約200万人といわれていますが、土地面積の40～50%を占める県北に約50万人、50～60%の土地に県央・県南の人口は150万人分布しており、県北に1クラブ、県央・県南に3クラブが存在します。つまり、わがクラブは人口密度の低い地域で活動しているのです。しかしこの中で私共は奉仕の場に恵まれております。

- 1、国際医療福祉大学の学生を中心とする若いリーダーの参加
- 1、アジア学院への奉仕と国際的学び
- 1、西那須野幼稚園を通しての幼子とふれあい・共育
- 1、とちぎYMCA 5周年記念事業として開設さ

れた塩谷キャンプ場の存在

等々私共の使命としての働きを受け止めてくれる多くの場が広がっているのです。那須ワイズの活動の一つに20年間続けてきた“赤松の植樹”があります。松は山の王様と言われています。何故でしょうか。松はヤニと節が多く、幹は曲り建築用としては用を足しません。また薪炭材としても柔らかくて特殊な用を除き燃料にも向きません。しかし、松は山頂のあまり土のないやせた土地に根を張り、緑をもたらし、そこに動物が棲み、植物が生えます。落葉は土地を肥やし、肥えた土地に杉の木が育ち、桧の林ができます。山の自然の原点を松が支えているのです。

那須ワイズメンズクラブもこの地域にあって、松のように奉仕の根を張りたく願います。どうぞ今後とも良き友、良き隣人としてワイズメンの輪にお加えくださいますようお願い申し上げます。(設立20周年記念感謝例会での歓迎の挨拶より)

4月例会(植樹例会)

記録：田村 修也

日時：4月25日(土) 午前10時～午後1時
場所：那須街道赤松林
参加者：田村会長、村田 メネット：田村、村田。
ゲスト：ガールスカウト他、合計：17名

- 1. ちいさな木みが ひとつずつ
ちいさな木のめを出し
木のめはなかよく
てんをあおいでい
ちいさなもりとなる
そだてもりよ たくましく

もりはわれらのもの

ちきゅうのなかま

2. さむいふゆを じっとたえてる

ちいさなつよいいのち

こえだにみどりの

はがしげる日

かがやくもりとなる

そだてもりよ うつくしく

もりはわれらのもの

ちきゅうのなかま

3. われらに生きるよろこびを

あたえてくれるもりよ

ひかりはあふれる

しぜんのなかで

たのしいもりとなる

そだてもりよ すこやかに

もりはわれらのもの

ちきゅうのなかま

この歌は「みどりの少年団」の団歌として作られた歌で、團伊玖磨の作曲だと記憶しています。

植樹活動をする時には、何故か小さな松の苗木を植えながら、つい口ずさんでしまいます。軽快なメロディーとリズムは、大作曲家の團伊玖磨さんの手になるものです。



今回も塩那森林管理署の山岸さん、鳴川さん、仁平さんが休日にも拘らず出向いて、準備から指導とお世話に

なりました。山岸さんは那須街道の赤松林は、地元の方々が薪や製炭のために、長年に亘って植え、育て、守って今日の美しい姿になっていると挨拶のなかで、話してくれました。79ha（東京ドーム17個分の広さ）のなかに12,000本の松があるとのことでした。そして、毎年マツクイムシや強風などの被害を受けて、役200本もの松が失われているので、その後継樹を植えることは、とても重要なことなので、今後共この活動を続けていって頂きたいとも話されました。

今回は、那須YMCAはサタデークラブの活動と重なったので高校、大学のリーダーとスタッフは残念ながら参加出来ませんでした。しかし、地元黒磯のガールスカウトの皆さんが一生懸命松の苗木を植えてくれました。予定の植樹が終わった後、新緑の天井の下で、持ち寄ったご馳走を分かち合いながら食事会を開きました。食後は有希

子さんのサイアノ写真の素敵なカードをジャンケンゲームでお気に入りを分け合い、アコーディオンに合わせて、さんぽ、思い出のアルバム、エーデルワイスなどの歌を楽しみました。秋の植樹も一緒に出来ることを楽しみに、那須街道の赤松林とお別れして、それぞれ家路につきました。晴天に恵まれた爽やかな一日でした。

第3回北東評議会に出席して

日時：4月18日（土）午後1時～午後4時30分
会場：とちぎYMCAさくらんぼ幼稚園

大久保部長最後の評議会が、宇都宮のさくらんぼ幼稚園にて22名の出席のもとに開催された。那須クラブよりは、田村会長と村田副会長が出席した。議題は、各事業主査の活動内容と各クラブの活動内容の確認が行われた。クラブエクステンションでは、仙台3クラブを中心に石巻広域ワイズの設立が進んでいること、もりおかクラブを中心に宮古にワイズをとの動きがあります。クラブ活動の原点は、会員数(会員増強)の必要性が一番であるように感じた。その後、協議事項としては、11月に実施の第2回ユースリーダーアクトの決算が承認された。次次期の北東部部長として、もりおかクラブの長岡ワイズが承認された。次年度の北東部部長事業方針が提出され、承認された。部長主題は『「今と原点を融合して未来へ」—楽しく改革・笑って行動—』。部事業としては、第3回ユースリーダーアクト(兼被災地少年サッカー交流)の実施。石巻広域ワイズへの支援等が挙げられました。行事予定は、7月25日(土)第1回評議会(仙台)、9月5日(土)部会(仙台)、11月21日(土)第2回評議会(宇都宮)、2016年4月23日(土)第3回評議会(盛岡)と発表されました。皆さんも予定に入れてください。

4月役員会報告

日時：4月10日（金）18：30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、田村メネット

協議事項

1. 4月例会について

赤松林の植樹例会を4月25日（土）10時に駐車場に集合し赤松苗の植え付けを行う。

2. アジア学院入学式出席の件

4月11日(土)午後1時30分～。田村会長と

村田副会長が出席する。

3. 社会福祉法人とちぎYMCA福祉会ようとう保育園の開所式の出席の件

4月29日(水)午前9時～。田村会長と村田副会長が出席する。

4. 第18回東日本区大会出席の件

2015年6月6日(土)～7日(日)に厚木市文化会館にて開催。村田メン・メネットが出席。

5. 5月役員会と例会の件

役員会は、5月15日(金)午後6時30分～、ココス西那須野乃木店。

例会は、5月30日(土)に野崎さんが運営されている馬頭の農村塾を訪問。詳細については5月役員会で協議する。

6・第3回北東部評議会参加の件

4月18日(土)午後1時より、とちぎYMCA さくらんぼ幼稚園で開催。田村会長と村田副会長が出席。河野副会長は欠席で委任状。

7. 東京目黒クラブとの交流会の件

東京目黒クラブが2015年8月26日(水)～28日(金)の2泊3日で「北区しらかば荘」での移動例会を開催。那須クラブとして、27日(木)の夜に1泊で交流会を行う。なお、当日の昼の間に、田村会長による「那須疎水」を案内・説明を行う。

地域の指導者が開拓の事務打ち合わせを行う。②その結果を受けて、翌日雪中にも拘らず直ちに水路の路線調査に着手。③2月には西南戦争が勃発④4月には南一郎平が政府の命により開墾地調査を行い、那須野が原が開拓有望の地と勸農局長に復命している。

この調査を行なった南一郎平が、後に内務省土木課長疎水課長となって、明治18年4月1日付けで太政大臣三条実美が10万円の支出を裁可し内務省直轄事業となった時に、総監督となって那須疎水の開墾を行なったのである。時系列的にはまだ明治18年までまだまだ5年もかかるが、前回の関係で、南さんを紹介していきたい。

南一郎平は、天保7年5月22日、豊前の国(大分県)金屋村に生まれ、父を市郎兵衛宗保といった。宗保は、その頃村の庄屋をつとめていたが、高德の人で、自ら学問に精進すると共に、実践窮行して衆人に範を示さんと心掛け「堪忍隠徳」「一日学」という二つの言葉を座右の銘として、自己修養に努めていた。

母もまた稀なる賢夫人で、家庭の教育には特に力を尽くしたから、その子孫には、一郎平をはじめとして、有為の人材が輩出している。金屋村と近隣数ヶ村は、地勢高台にあって水利の便甚だ悪く、従って夏期ともなれば、農民の間に水争いが絶えず、親子兄弟の間でも、暴力沙汰がしばしば起こった。

そのため、農民はみな貧困で、その生活は悲惨のどん底にあった。農民であっても米などは到底口に入らず、米は薬より貴重なものと考えられていた。従って村民の気風は廃頹して、野卑粗暴を極めていた。

このような次第であったから、この地に水利を起こし、灌漑の便を開き、窮民匡救の途を講じたいと、宝暦元年、その地を領していた、宇佐神宮庁は、社費を以て駅館川の上流、広瀬村に取り入れ口を設けて水路開墾を企てた。

しかし、地形や土質の関係で、工事は非常に困難を極め、6年の歳月を費し、莫大な資金を投じたが、どうしても成功することは出来なかった。

次いで、文化11年から、文政4年に至る8年の間、宇佐神領の富田久兵衛と、矢野与兵衛が協力して広瀬用水再興を企てたが、これまたある部分までは成功を収めたが、完成を見るには至らなかった。

第2回の工事も不成功に終わって間もなく、西国郡代官塩谷大四郎が第3回目の広瀬用水開墾を企てた。この塩谷はすぐれた人物で、よく民を愛

今後の予定

・5月例会(野外例会)

日時：5月30日(土)午前10時～

場所：馬頭「農村塾」

内容：農村塾のお仕事についての説明と散策

*詳細については5月役員会で協議。

・5月役員会

日時：5月15日(金)午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

旧西那須野(那須西原)の緑と水(25回)

田村修也

明治10年(1877)という年は那須野が原開拓史にとりまして、年明けから忘れられない出来事が次々と始まった年でした。先ず①前年1月に地租改正の説明会で鍋島知事、印南、矢板が出会い、那珂川から鬼怒川までの運河構想が打ち出されたのを受けて、1月には印南、矢板はじめ

し、また土木経済等にも達人と言われていた。しかし、非常に難工事であることは、かねてからわかっていたので、幕府の援助を乞い、勘定奉行が江戸から遥々下向して、隣藩にまで号令して協力させ、大掛かりの準備を以て工事に着手した。この時、一郎平の父宗保は金屋村の庄屋として、これに参画し、東奔西走非常な努力を傾けたが、何分地形の悪いのと土質軟弱なため、多数のトンネルを随って掘れば随って崩れ、遂に力尽きて失敗に終わってしまった。(資料田嶋董著「那須疎水」より)。以下次号へ。

姫路クラブ・東京目黒クラブ・那須クラブの交流会

日時：3月14日(土)午後6時～

場所：北区しらかば荘

出席者：田村、河野、原田、荒井、村田の各ワイズ、原田、村田の各メネット、姫路クラブ(山本会長ご夫妻)、東京目黒クラブ(村野会長、福島書記、村野メン、福島メネット)

那須クラブの設立20周年記念感謝例会に引き続いて、場所を変えての交流会を開催した。美味しい食事をいただきながら、参加者の自己紹介とクラブの状況についての報告をした。食後那須クラブの原田御夫妻と荒井書記は、次の日のプログ



ラムのために帰宅。残った者は、御用邸と同じ源泉かけ流しの風呂にゆっ

くりとつかり、今日の疲れを癒し夜遅くまで話が弾んだ。その中で東京目黒クラブより8月の移動例会を那須で行いたいとの提案があった。翌日は、山本ご夫妻の結婚記念日を祝するような真っ青な空の中、那須山を案内し、午後1時ごろ那須塩原までお送りをしました。又、8月にお会いすることを約束いたしました。

YMCA 報告

【ようとう保育園開所式・オープンハウスを行いました！】

去る4月29日(水)、とちぎYMCAでは、初めての保育園「とちぎYMCA福祉会ようとう保育園」のオープン・ハウス(竣工式)が執り行われました。日本キリスト教団四條町教会の平山正道

牧師の司式のもと、100名のみなさまにご列席いただきました。那須ワイズメンズクラブの田村会長には、竣工式の奏楽をして頂きました。また、在園生とその家族200名、ワイズメンズクラブ・Y3・リーダー100名、職員100名、地域(自治会)のみなさま100名、すべてのみなさまを合わせて600名のY



MCA関係者と喜びの日を迎えられました。みなさまのご協力に深く感謝を申し上げます。会員のみなさま、ワイズメンズクラブ&Y3、リーダー、様々なYMCAに集うみなさま、地域のみなさまからのご支援をいただき、躍進を遂げてまいりました。神さまのご計画のうちに、ようとう保育園が始められますことを深く感謝申し上げます。

【フィリピンキャンプ2015参加者募集！】

毎年恒例のフィリピンナボタス・タラ交流キャンプの参加者を募集しています。毎年様々な方にご参加頂き、毎回新たなストーリーが生まれております。国際交流・協力に興味のある方、日本と違う環境を体験してみたい方の参加をお待ちしています。

【日程】2015年8月7日(金)～14日(金)

【対象】15歳以上

【費用】125,000円(初めての学生には40,000円の補助有)

編集後記

・4月25日にネパール中部で発生し、死者が8000名近く、生き残った人々も安全な水や食料が不足し過酷な生活を強いられているとの報道に心が痛みます。20年前の阪神淡路大震災、5年前の東日本大震災を経験した私たち。全国のYMCAには多くのネパールからの留学生、アジア学院のネパールからの留学生のことを思うと心が痛みます。ご加祷ください。6月30日(火)まで募金活動を行います。

・設立20周年記念感謝例会の余韻の中にある時、次への計画と実行の時。健康に注意しながら那須YMCAの働きを支えつつ、YMCAとワイズの活動がこの地に広がっていくために、皆様のご協力とご支援をお願いします。

・先月号に記事が抜けておりましたので、交流会の様子の記事を記載しました。